

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.5

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43886

194

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

述べ、核については最高首のう部による決定を待たなければならぬが、じゆん然たる私見としては作戦行動のための基地使用につき米側として満足し得る条件が得られれば EMERGENCY の場合の問題はあるが、日本側の立場を考慮すると思うと述べた。

3. 8日グリーンと会見したが、本使よりシモダ大使より申し入れの三点を説明し、日本側立場に対する理解を求めた後、主としてベトナム情勢につき質問したのに対し、先方は北越の態度は短期的には変化はないであろうが、長期的にはホーチミンの死はい大な指導者を失ったことより、NLFの士気へ影響し、また北越政府内部においても指導層間にあつれきが生ずると見ていると述べていた。

ベルギーへ転電した。

(7)